

宮城県内の水田土壌の放射能測定結果等について

4月1日に宮城県内で採取した水田土壌について、農林水産省の指導・協力を得て放射能測定を実施し、玄米への移行量を算出したところ、下記のとおり全て指標値を下回りました。

記

1 採取年月日

平成23年4月1日

2 測定分析機関

(独) 農業環境技術研究所 (茨城県つくば市) (農林水産省の協力による)

3 測定結果

測定した結果は以下のとおりです。(11市町, 14点)

○放射性セシウム

(単位: Bq/kg 乾土, Bq/kg)

区分	土壌		玄米	
	土壌中の放射性セシウム濃度 (Cs-134, Cs-137) A	土壌中の放射性セシウム濃度の上限値	土壌中から玄米に移行する放射性セシウム濃度 ※(Cs-134, Cs-137) $A \times 0.1$	原子力施設等の防災対策に係る指針における摂取制限に関する指標値 (玄米)
白石市	684	< 5,000	68.4	< 500
柴田町	693		69.3	
川崎町	175		17.5	
丸森町	557		55.7	
仙台市	98		9.8	
大和町	259		25.9	
大崎市	247		24.7	
	188		18.8	
色麻町	146		14.6	
美里町	154		15.4	
栗原市	210		21.0	
	511		51.1	
登米市	215		21.5	
	196		19.6	

※ 水田土壌から玄米への放射性セシウムの移行の指標「0.1」を土壌中放射性セシウム濃度に乗じて算出

